図書館だより

3月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑯	17	18	19	20	㉑
22	㉓	24	25	26	27	28
29	㉚	㉛				

○印　休館日
月曜日・祝日(21日)
月末館内整理日(31日)

門畑に牛羊あそぶ社日(しゃにち)かな　蛇笏

社日は、ふつう春分・秋分にもっとも近い戊(つちのえ)の日で、名称はシナからの輸入であるが、中国では立春・立秋後の第五の戊の日としている。日本でその日のかぞえ方は、土地によって一定せず、意味もちがっている。社日のころは、春は種まき、秋は収穫の時期なので、古来の田の神信仰と習合して節日(せちにち)とされたのである。甲州では社日詣と言って、石の鳥居を七つくぐると中風にならぬと言って、方々の神社を拝みまわる。

（『最新俳句歳時記』より）

今月の新刊図書案内

一般図書

この本だいすき！　小松崎進
報道される側の人権　飯室勝彦ほか
誰からも好かれようとする女たち　ウーテ・エーアハルト
時間に強い人が成功する　中谷彰宏
古代史新聞　古代史新聞編纂委員会
知ってなるほど苗字の謎　丹羽基二
日本ふるさと百科　せとうち総合研究機構
シンクタンク　八巻直躬
スペイン・ポルトガル・ギリシャ・トルコの旅　吉川元忠
YENは日本人を幸せにするか　西村俊一
マイホームかしこい住宅ローンの利用のしかた　井上隆司
税金の常識　高木俊彦
非行をつくらない子供の育て方　主婦の友社
やさしくわかる初めての老人介護　舟田詠子
手話を始める人のために　美馬道夫
パンの文化史　ジョン・ハート
地球はいつまで我慢できるか　田中弥生
ヒフの悩みQ&A　立花　隆
高齢者の介護食べさせ術　石田雄太
インターネットはグローバル・ブレイン　矢作　弘
メダルへの伴走者　沢野ひとしほか
帯結び入門　高井　潔
トウガラシの文化誌　野村正樹
都市はよみがえるか　沢野絵の謎
売れない時代のヒットのヒント　アナール・ナージ
暖簾　高井　潔
ポートレイト・イン・ジャズ　和田　誠／村上春樹
ミュージカルを楽しむ法　野口久光
日本プロ野球革命宣言　渡部直己
必携茶の湯便利帳　主婦の友社
漢字文化の源流を探る　水上静夫
このひと言で伝わる！　大杉正明
NHKラジオ英会話　発表現300
金子兜太の俳句入門　池田満寿夫
時の乳房　岩崎保子
世間知らず　久世光彦
謎の母　佐々木譲
ワシントン封印工作　篠田節子
ハルモニア　常盤新平
わさびの花　永井義男
中山道算学奇談　宮尾登美子
天涯の花　吉村　昭
遠い幻影　瀬戸内寂聴
寂聴おしゃべり草子　林真理子
踊って歌って大合戦　山田太一／小浜逸郎
幸福になれない理由（わけ）　江国　滋
おい癌め酌みかはさうぜ秋の酒　金子兜太
アンモナイトの谷　バーリー・ドハティ
ニューヨーク・バナナ　マイク・フェイダー
ブレードランナー3　K・W・ジーター
最高裁調査官　ブラッド・メルツァー

児童図書

自分でできる占い　外一八六冊
リンカンがひげをはやしたわけ
できたらいいな手話介護
お江戸はやくちことば
グリーン・アイズ
たっちゃんと生きる
ぼくの中の見知らぬ「ぼく」
あしたにトライ
とんでもないブラウン一家
象と二人の大脱走
そのつもり
ヴァイオリンをひくネコ
マンモスの謎
ちいさくなったおにいちゃん
星の使者　外八四冊

心の健康シリーズ（59）

子どもは叱ってもいいが怒ってはいけません

人の道徳判断は四歳ころから発達して十五歳ぐらいまでに完成するといわれています。

ですから、子どもを取りまく大人が子どもたちに善悪の正しい判断基準をはっきりと示してやることが必要なのです。

そのためには、子どもが好ましくない行為をした時には叱るという事がなくてはならないのです。

叱る行為は、その子どもに道徳的判断基準を教えることです。褒めたり、おだてたりばかりでは、子どもは「なにが良くて、なにが悪いか」を区別できなくなってしまいます。

今、道徳的判断の出来た年齢にある中学、高校生の非行が多く、社会的問題になっていますが、これらの多くは、甘やかされ、わがままに育てられ、道徳的基準を教えられないまま育ったのではないでしょうか。

今、一番叱るのは母親で、次が父親、三番目が教師という調査結果が出ています。ちなみに、戦前の調査では、一位が教師、二位が父親、母親は三位で、現在とは全く逆転していることが分かります。同時に家庭教育における母親の責任が重くなっていることが感じられます。

よく子どもは「怒られた」といいますが、子どものいう「怒られた」という言葉には次の三つの内容が含まれています。

一、怒られた（体罰を含む）
二、叱られた（いい諭す）
三、注意された（気をつけさす）

しかし「怒られた」のと「叱られた」のとでは明らかに違うのです。前者は感情的になって叱責し、怒る人の自己満足に過ぎません。子どもにはただ反感が残るだけで効果はありません。

それに対して後者は、理性的で相手を理解し、相手の非をとがめるものであり、子どもも納得できるものです。

ですから「叱ってもいいけれど怒らないようにする」ことが大切です。

では、叱る時にどんな事に気をつけるべきか次に記します。

一、本人がやった行為そのものについて叱る。「お前は悪い奴だ」などと人格に触れるような言い方はしないこと。
二、叱り方に一貫性があり、両親祖父母の意見が一致していることが大切です。

一般的、親の悪い叱り方として

一、暴力型（体罰を加える叱り方）
二、皮肉型（皮肉を含め、長々とした叱り方）
三、比較型（他人と比べる）
四、陳列型（過去のことまでいう）
五、矛盾型（一貫性に欠け、気分で叱る）

あなたは、どの型に入りますか。

「適切な叱り方が子どもを伸ばす」

子どもの悩みごとは
教育相談室へ
（八朔屋台展示庫前）
月～金　午前8時30分～午後4時30分
☎（43）1323